

2021年5月21日

「知と人を創る異分野共創研究教育グローバル拠点」を目指して

神戸大学長
藤澤 正人

神戸大学は、「学理と実際の調和」を建学の理念とし、進取と自由の精神がみなぎる学府である。「真摯・自由・協同」の学風のもと、真理の探究と社会実装を旨として学問の継承と発展に寄与し、人々の智と徳を高め、もって社会の基盤を築き、産業・経済を活発にするとともに、さまざまな社会的課題解決に貢献してきた。

この伝統を継承するとともに人文・人間・社会科学系、自然科学系、生命医学系諸分野における強みを社会に活かし、「知と人を創る異分野共創研究教育グローバル拠点」として進化・発展し続けることを神戸大学長期ビジョンとする。すなわち、世界最高水準の異分野共創型教育研究拠点を構築し、様々な連携・共創を高い次元で推進し、最大限にその力を発揮・挑戦し、現代及び未来社会の課題を解決できる優秀な人材育成と新たな価値とイノベーションを創出し、超高齢化、ポストコロナ、知識集約型デジタル社会に貢献する。

教育においては、持続可能なこれからの新しい社会を豊かに生きるための多様性、国際性、卓越性と柔軟性の涵養を重視する。AI、IOT、ビッグデータ解析、ICT基盤をもとに大学の知的資源を最大限に活用し、新たな価値を創造し社会実装できる有能な人材を養成する。そのために、文理の枠を超え社会と協働し産官学共創による知識、能力、技術の実践的教育、価値創造教育、さらに数理データサイエンス教育を推進する。

研究においては、独自性を重視し、知的活動や創造力によって真理を探求する基礎科学研究、あるいは、地域社会と共創した応用科学研究を遂行する。国際性と先進性のある神戸という地域に根差し、世界を見据えた本学に対する社会の期待に応えるべく、産業界、自治体等と共創し世界を牽引する開かれた卓越研究拠点を構築して、先端研究で優れた知とイノベーションを創出し、それらを社会に還元することによりSDGsが掲げる地球的諸課題の解決を目指す。さらに、多元化・複雑化・流動化する社会的変化や学術動向にも対応し得る適応力としなやかで強靱な継続的成長を促す持続力を強化し、研究力を高めレジリエンスのあるイノベーションエコシステムを構築する。

そして、構成員一人ひとりが、教育研究・業務に持てる力を最大限に発揮できるダイバーシティ&インクルーシブな環境づくりに取り組むとともに、学長のリーダーシップのもとガバナンスと経営の創造的改革により堅固で柔軟性の高い自律的な研究教育経営基盤を確立し、神戸大学全構成員の力を結集して学術研究・教育の未来を切り拓く。

▶ 世界最高水準の異分野共創型教育研究拠点を構築

真理探究の基礎科学研究、地域社会と共創する応用科学研究の推進・連携により新たな知と人を創り、社会に貢献する異分野共創研究教育グローバル拠点をめざす

